

# SHENLONG GUNDAM XXXG-01S


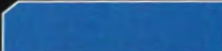

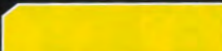
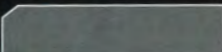

NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ  
XXXG-01S SHENLONG GUNDAM 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL



## PAINTING [塗装]

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

### シェンロンガンダム EW 指定色

-  本体などの塗装色  
ホワイト(95%)+ニュートラルグレー(5%)
-  腹部などの塗装色  
コバルトブルー(85%)+ホワイト(10%)  
+蛍光ピンク(5%)
-  胸部、つま先などの塗装色  
モンザレッド(50%)+シャインレッド(50%)
-  アンテナなどの塗装色  
ホワイト(85%)+オレンジイエロー(30%)  
+蛍光オレンジ(5%)
-  武器などの塗装色  
ニュートラルグレー(90%)  
+ブラック(10%)
-  目などの塗装色  
クリア(40%)クリアブルー(40%)  
+クリアグリーン(20%)

●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はお勧めできません。  
※カラー配合は参考値であり、写真とカラーガイドの色は異なる場合があります。

## ワンポイントステップ ~One point step~

### 顔を中心にスミ入れしてみよう!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。







[before]



[after]

## チャン・ウーフェイ

-  顔などはだ色部  
はだ色(100%)
-  髪などの塗装色  
ブラック(100%)
-  シャツの塗装色  
ブルー(45%)+ミディアムブルー(40%)  
ホワイト(15%)
-  パンツの塗装色  
ホワイト(100%)+ライトブラウン(少量)



GUNDAM-W  
*Endless Waltz*  
敗者たちの栄光



XXXG-01S  
「シェンロンガンダム EW」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル

SHENLONG GUNDAM XXXG-01S  
NEW MOBILE REPORT GUNDAM W ENDLESS WALTZ  
XXXG-01S SHENLONG GUNDAM 1/100 SCALE MASTER GRADE MODEL



XXXG-01S  
「シェンロンガンダム EW」  
1/100スケール  
マスターグレードモデル



# NEW MOBILE REPORT GUNDAM W

## MS Design

「TV版」シェンロンガンダムと「エンドレスワルツ版」シェンロンガンダム

シェンロンガンダムEWの“EW”とは、OVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』に由来する。ただし、この機体は映像化されておらず、設定画が存在するのみである。では、この機体はいったい何なのか？ その誕生には作品の世界観におけるデザインリファインが大きく関わっている。

『新機動戦記ガンダムW』はTV放送終了後、その圧倒的人気からOVA『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』が制作された。このOVA作品はTV版の後日談を描いたものだが、ふたつの物語の世界観は“(イコール)”ではなく、“≒(ニアイコール)”であった。このパラレルワールドとも言うべき世界観の違いはストーリーだけでなく、MSにおいても見られ、大河原邦男氏によるTV版のデザインは、OVA版ではカトキハジメ氏によって手掛けられた。その際、後継機のみが登場しているOVA版においても初期型のガンダムが存在して然るべきと、カトキ氏が描いた機体—それこそがEW版、



▲カトキハジメ氏が描き起こし、劇場版『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz』のパンフレットに掲載されたイラスト

### TVシリーズデザイン

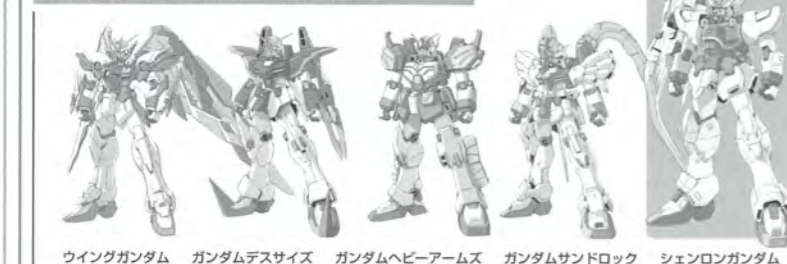


俗に“アーリーモデル”と呼ばれる機体である。シェンロンガンダムEWは、この“アーリーモデル”であり、ウイングガンダムやガンダムデスサイズもEW版が描かれている。

大河原氏によってデザインされた5機のガンダム。これらの機体はTVシリーズ後半において各々の後継機が登場し、後日談であるOVAではカトキ氏によって手掛けられた後継機が主役機として活躍している。そのため、OVAでは初期型のガンダムは登場しないのだが、カトキ氏は1998年に『新機動戦記ガンダムW Endless Waltz 特別編』として劇場公開された際のパンフレットにて前期型EW版を発表。シェンロンガンダムEWも、その中の1機として描かれている。

シェンロンガンダムにおけるTV版とEW版のデザインの違いは、プロポーションや肩や胸アーマーなど各部の形状など散見する。また、最大の武器であるドラゴンハンクも展開(伸縮)ギミックも含めて、デザインが行われている。例えば延長アーム部などは、デザインの際オミットされているが、その分先端部分が大型化され、より形状が強調されたデザインに変更されている。

### EW仕様(カトキハジメ)デザイン



## Gundam W Story Playback

本来の“オペレーションメテオ”は、数基のコロニーを地球に落下させ、その混乱に乗じ5機のガンダムで地球を制圧するという、20億人もの犠牲者を伴う非情なものであった。五飛は、家族にも等しい“竜一族”のコロニーを護るため、単独で“オペレーションメテオ”を遂行すべく地球に降下する。“強さ”にこだわる五飛は、他のガンダムパイロットとも距離を置く事が多く、OZの総帥トリーズ・クシュリナーダの打倒こそが戦争終結の手段だと考えていた。しかし、その最終局面において、トリーズは敢えて敗北を選択した。故郷も愛する人も失い、さらにはトリーズに永遠に勝利することができなくなってしまった五飛の心は、戦争が終結してもトリーズに魅入られたままだった…。

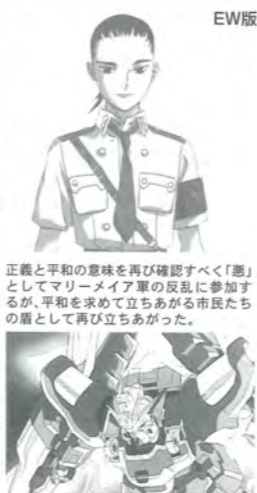


TV版

EW版



A.C.0196年。かつての戦いから一年後。五飛は“ナタク”と共にマリーメア軍に身を投じていた。戦争は終結したものの、トリーズによって刻み付けられた敗北感拭う事ができなかった。「さあ地球よ、俺に本当の正義を見せてみる!!」仲間を裏切ってまで答えを追い求める五飛は、ヒロのウイングゼロと軌道上で戦う。「五飛、トリーズはお前が倒したんだ」「違う、俺は今でも奴と戦っている!!」戦士としての自分を見失っていた五飛は、ヒロがふと漏らした言葉に胸を突かれる。「教えてくれ五飛、俺はあと何回、あの子とあの子犬を殺せばいいんだ!」「…あれがまた、繰り返されるというのか!」ようやく自らを省みた五飛は、マリーメア軍が居座るブリュッセルへ向かう!!



老師Oの指示で「悪」であるOZ壊滅のため行動していた少年。強さこそが正義という信念のもと、戦士として育てられた。

正義と平和の意味を再び確認すべく「悪」としてマリーメア軍の反乱に参加するが、平和を求めて立ちあがる市民たちの盾として再び立ちあがった。

## 組み立て前の基本説明

### 部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。

### 1-1 BODY

(ボディの組立)



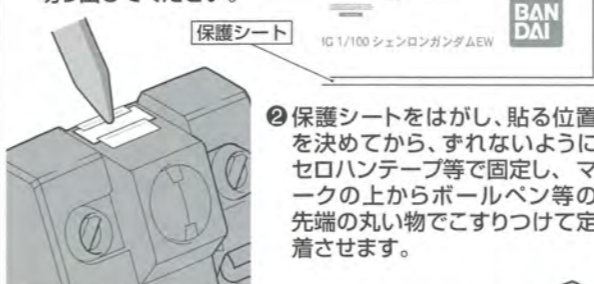
※各部品は、向

向きをかえます。

(下から見た図)

### ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

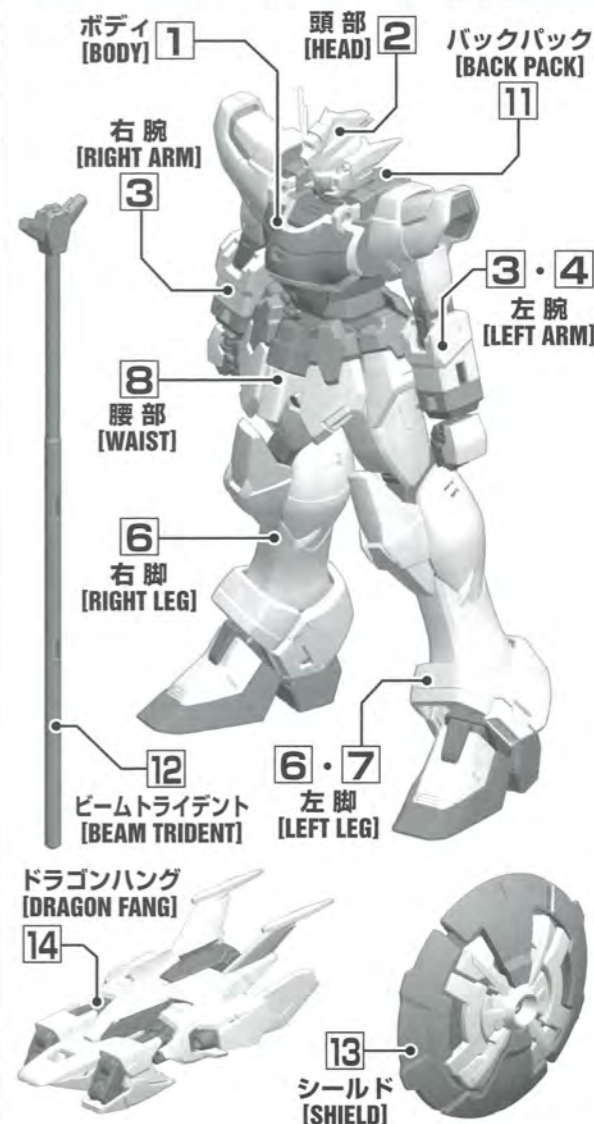


②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

### 説明書をよく読んで完成させましょう

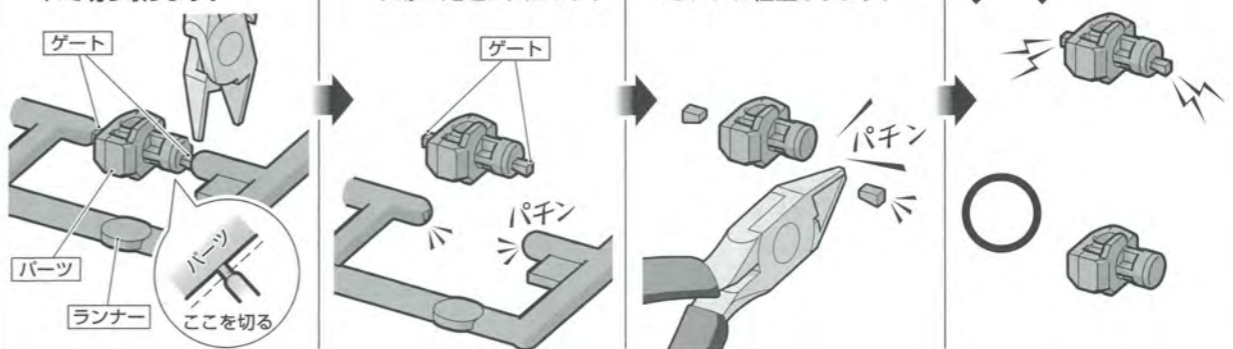


### パーツの切り取りかた

①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。

②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。

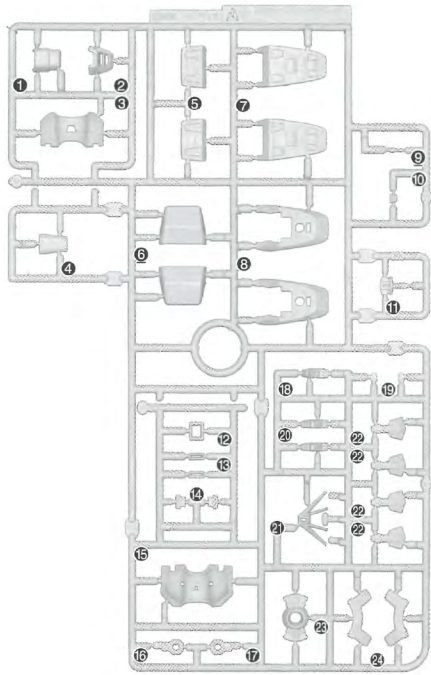
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



# パーツリスト

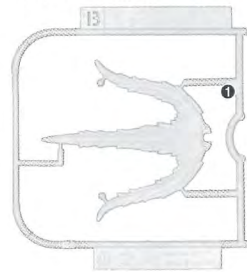
(X印は使用しないパーツです。)

Aパーツ (スチロール樹脂 : PS)

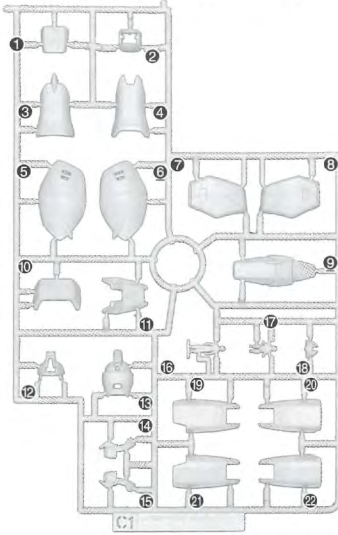


Bパーツ

(スチロール樹脂 : PS)

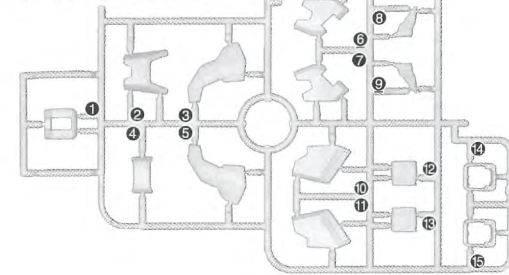


C1パーツ (スチロール樹脂 : PS)

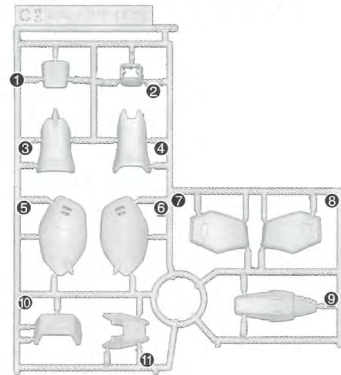


D1パーツ

(スチロール樹脂 : PS)

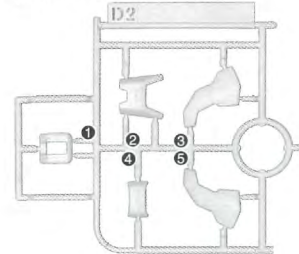


C2パーツ (スチロール樹脂 : PS)

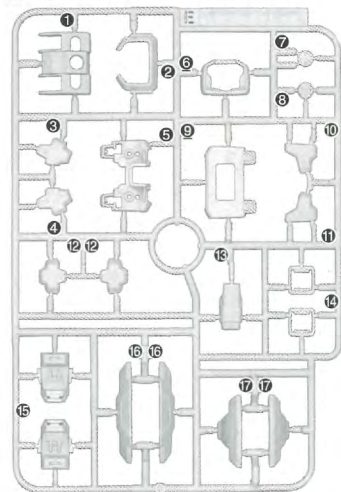


D2パーツ

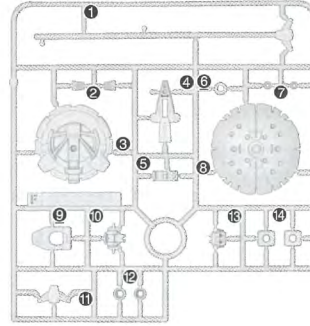
(スチロール樹脂 : PS)



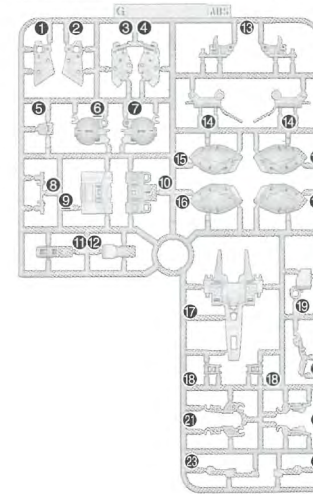
Eパーツ (スチロール樹脂 : PS)



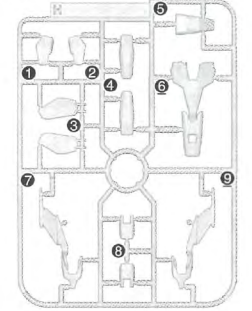
Fパーツ (スチロール樹脂 : PS)



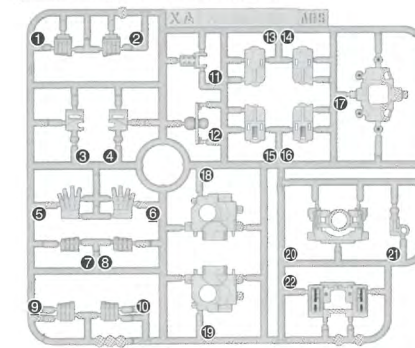
Gパーツ (ABS樹脂 : ABS)



Hパーツ (スチロール樹脂 : PS)

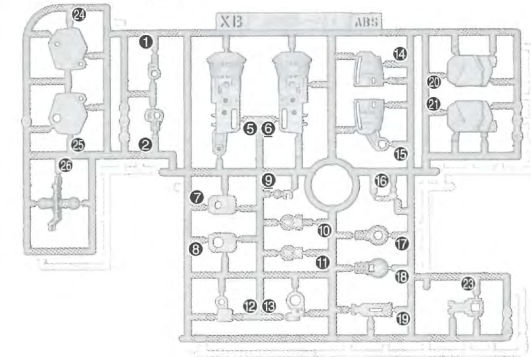


XAパーツ (ABS樹脂 : ABS)



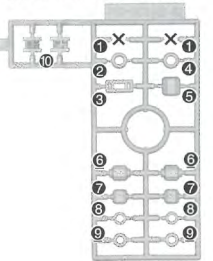
XBパーツ (× 2)

(ABS樹脂 : ABS)



PC-205Aパーツ

(ポリエチレン : PE)



カラーシール..... 1枚  
マーキングシール... 1枚  
ガンダムデカール... 1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

**注意**

必ずお読みください

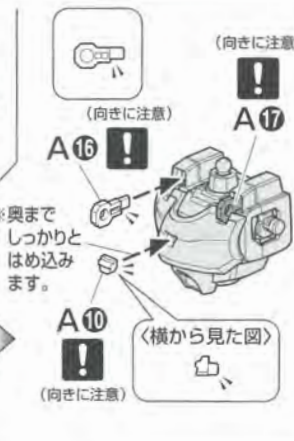
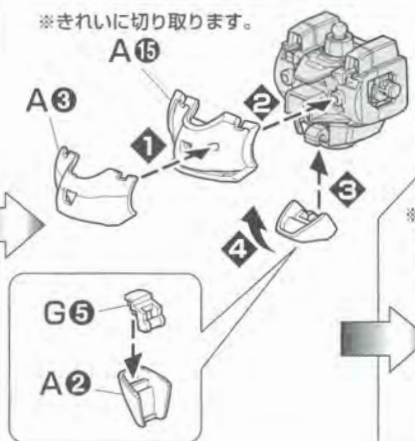
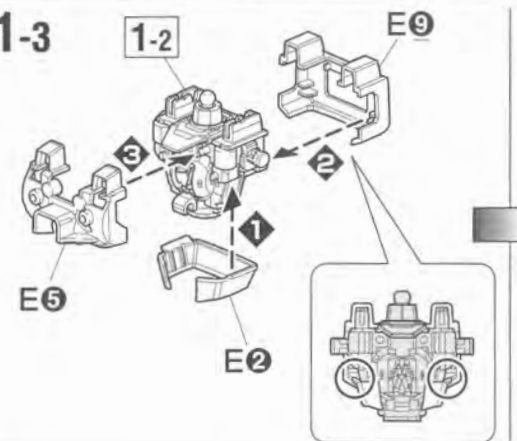
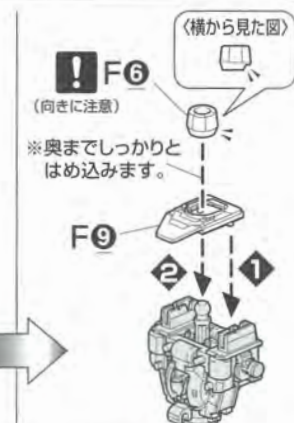
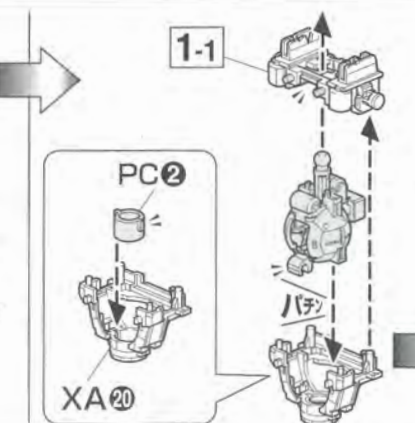
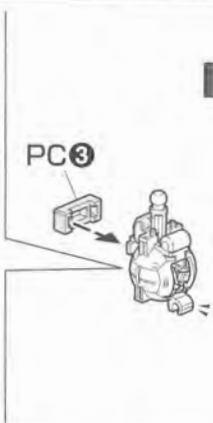
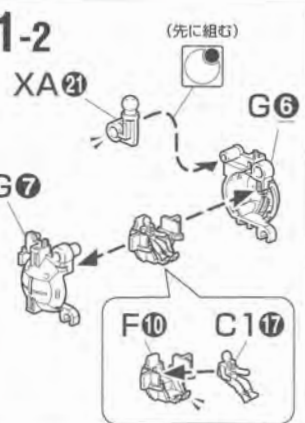
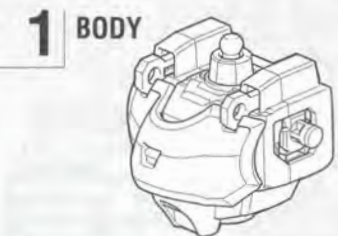
- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

〈組み立てる時の注意〉

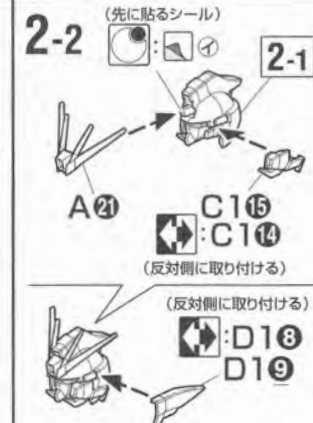
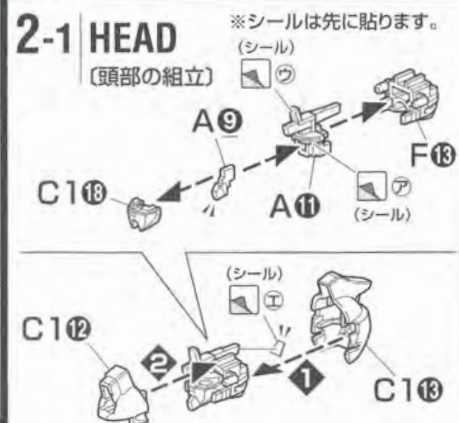
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
  - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
  - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
  - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
  - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・切り取る場所	・シールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側と同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・注意	・事前の確認を必ず行います
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・180度	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動きます

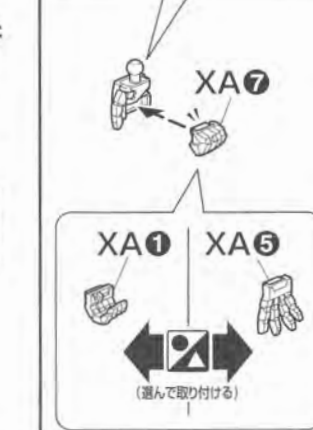
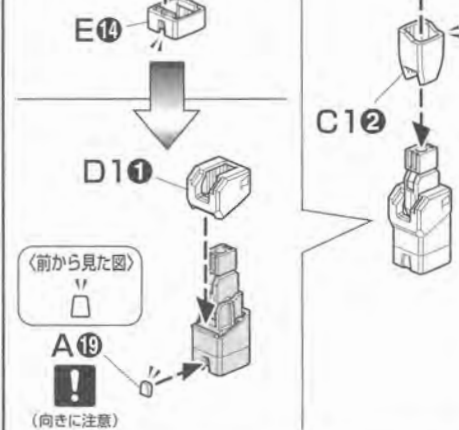
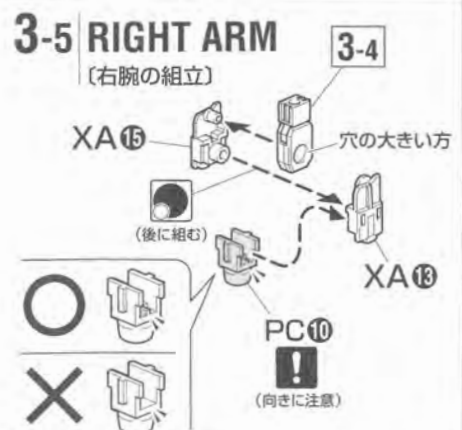
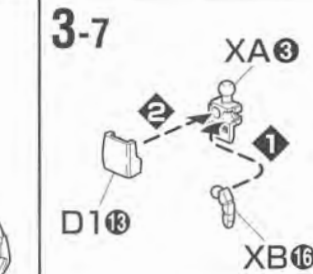
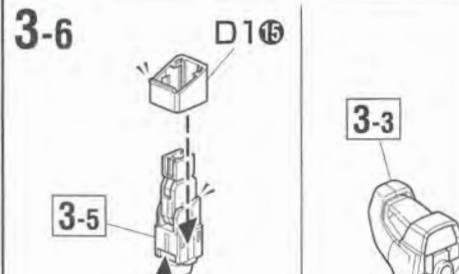
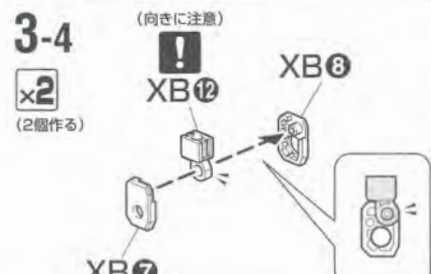
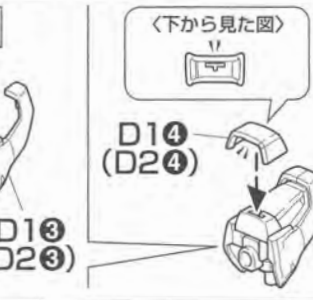
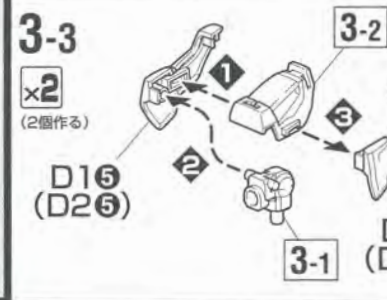
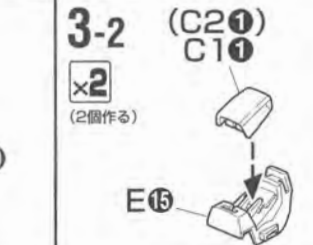
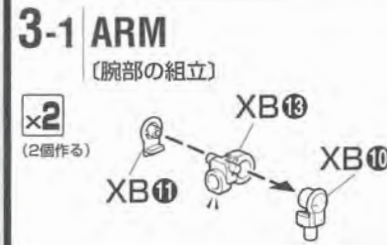
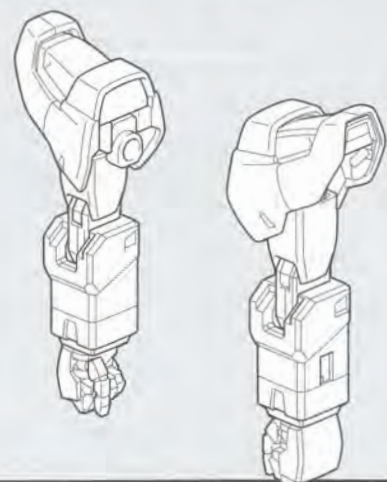
※各部品は、向きに注意して組み立てます。



**2 HEAD**



**3 RIGHT ARM 4 LEFT ARM**



# GUNDAM W ANOTHER ASPECT

## Shenlong Gundam

地球圏統一連合の専政によるコロニー住民との軋轢が深まりつつある時代。A.C. (アフターコロニー) 195年、連合軍の組織に隠れ、地球圏の完全支配を目論む秘密結社"OZ"の暗躍を阻止するため、各スペースコロニーから5機のガンダムが隕石に擬装して地球降下をはたし、極秘作戦「オペレーション・メテオ」を決定した。ヒロユイが乗るウイングガンダムが、連合軍のスペシャルズ特佐ゼクス・マークスのリーオーとの戦いを経て海底に没していた頃、デュオのデスサイズが、トロワのヘビーアームズが、カトルのサンドロックが「それぞれのオペレーション・メテオ」を各地で遂行していた。そして揚子江付近の海上では、遊弋する何隻もの戦闘艦艇が業火に包まれていた。その炎の中、さながら伝説の龍の様な腕を持つMSが無傷の軍艦の甲板に立ち、その頭で艦橋を噛み砕く。さらに、空から迫る迎撃機に紅蓮の火炎を浴びせかけ、一瞬で2機を撃墜する。「俺は五飛。逃げも隠れもしない。この戦い、すぐにケリをつける!!」神龍(シェンロン)の名を持つガンダムのコクピットで、張五飛は自分自身に誓約するかのように呟いていた……。



※写真はイメージです。

### Betrayed by Home, Far Away (裏切りの遠き故郷)

オペレーション「ディブレイク」を経て戦火は宇宙へと拡大し、OZは連合残党の追撃と同時にコロニーの懐柔策を進めていた。その陰謀を暴くべく、宇宙への帰還を決意したカトルとデュオは、MS打上げ用HLVを求めてOZのシンガポールスペースポート基地へ向かう。「さすがOZの最新基地だ。これじゃ前へ進めないぜ。」基地のあちこちでは火の手が上がり、無数のリーオー、トラゴスがデスサイズとサンドロックの前進を阻むなか、自身の「戦う姿」を仲間へのメッセージとして立ち向かう。だがしかし、故郷であったはずのコロニーは、「ガンダムは敵である」と宣言した。打ち拉がれるふたり。「立て、サンドロック!! まだやられるわけにはいかないんだ…」「多分、俺たちいい事してるはずなんだけどなア…なんでこんなところで死ななきゃならないんだ…!!」その時、炎の向こうから一機のMSがゆらりと出現する。「それは…俺たちが正しいからだ!」シェンロン=ナタクを駆る五飛が毅然と言い放つ。「……正しいのだ。俺たちはアツ!!」瞬く間に2機のリーオーを撃破した五飛は、満身創痍のふたりに叱咤する。「正しい奴が強くなってどうする!!」デュオとカトルは、自分たちの想いが仲間たちに届いていたことを知る!!

# SHENLONG GUNDAM XXXG-01S

「神龍」の名を持つモビルスーツ、  
「シェンロンガンダム EW」がMGに降臨。



Illustration: Katoki Hajime

俗に「アーリータイプ」と呼ばれる5機のガンダムは、OVA「新機動戦記ガンダムW Endless Waltz」の世界観に存在するはずの「パワーアップ前の機体」として手掛けられたものだ。「EW仕様」のラインを踏まえたそのデザインは、ディープなファンのみならず広く認知されているものの、その立体化などは一部マニアックな商品にとどまっていた。しかし、2010年の「月刊ガンダムエース(角川書店:刊)」および「サンライズ」のタグによる「ガンダムW」再起動と、コミック「ガンダムW Endless Waltz 敗者たちの栄光」連載開始に伴い、コミックに登場するMSのデザインは「エンドレスワルツ版(アーリータイプ)」が採用されることとなった。これを受けて、そのMG化も同時に始動することとなった。「MG シェンロンガンダム EW」は、ドラゴンハンクの構造やシールドの面構成などカトキハジメ氏自身によるデザインやギミックの再検証を経て、さらに設定に準じた内部フレームの共通化などを基本仕様としている。



## MG SHENLONG GUNDAM MODEL DATA



ドラゴンハンクは設定イメージを再現。各所可動ギミックにより攻撃時の展開状態を再現。

手首の可動と引き出し構造の肩関節により、ビームライントをスムーズに構えることが可能。

「MG ウイングガンダム EW」「MG ガンダムデスサイズ EW」は別売りです。写真はバンダイプラモデル アクションベース(別売り)を3セット使用しています。

シナリオ 隅沢克之  
脚本 小笠原智史

新機動戦記ガンダムW  
Frozen Teardrop

脚本 隅沢克之  
挿絵 あさぎ桜

## GUNDAM W FEATURE #1

Comic デュオ視点で新たに追加されるストーリーに注目!!

『新機動戦記ガンダムW』の物語が装いも新たに生まれ変わる。この作品は、最も多くの面倒ごとに巻き込まれ、あるいはその裏事情に通じているであろう「デュオ」の視点を中心として物語が再構成され、単なるリニューアルにとどまらない数々のエピソードが展開する。物語は現在、ハウードのサルベージ船でデスサイズ、ウイング共に修理中。並行してトルギス誕生秘話、そしてトロワとカトルが地中海コルシカのMS工場を強襲!! ストーリー冒頭の見せ場を迎えている!!

登場人物の心理描写を巧みに描いたオリジナルストーリー Novel

『新機動戦記ガンダムW』の数十年後を描く壮大な物語。A.C.0195年の「オペレーション・メテオ」に至る過去の経緯と共に、EW(エンドレスワルツ)以後の世界が描かれている。火星国家の樹立に伴い、新たに導入されたM.C.(マーズセンチュリー)に展開する新たな戦い。リリーナ暗殺を命じられたヒロの真意は!? MD(モビルドール)の「マグアナック」隊を率いて『白雪姫(スノーホワイト)』『魔法使い(ワーロック)』と戦う少女カトリーヌ・ワード・ウィナーの運命は!? 過去と未来が交錯し、人々の野望と理想が織りなす華麗(エレガント)な物語を目撃せよ!!

### 3-8

(向きに注意) **F14**

3-6

3-7

### 4-1 LEFT ARM

(左腕の組立)

3-4 (後に組む) 穴の小さい方

XA14 XA16

PC10 (向きに注意)

D14 D20

E14

(前から見た図) **A19** (向きに注意)

### 4-2

3-3

C20

4-1

(向きに注意) **F14**

### 5 UPPER BODY

(上半身の組立)

XA4 D12

XB16

XA8

XA2 XA6 (選んで取り付ける)

※奥までしっかりと はめ込みます。

### 5 UPPER BODY

(上半身の組立)

2

1

3

4

### 6 RIGHT LEG

### 7 LEFT LEG

### 6-1 LEG

(脚部の組立)

x2 (2個作る) PC6

XB20

G13 (後に組む)

A14 A8

A7

### 6-2

x2 (2個作る)

F2

C10 (C20)

6-1

A6

A6

### 6-3

x2 (2個作る)

XB25

C17 (C27)

### 6-4

x2 (2個作る)

PC8 XB15

XB14 (後に組む)

XB19 ※きれいに 切り取ります。

XB24

XB6

### 6-5

x2 (2個作る)

XB25

G14

XB6

PC7

### 6-6

x2 (2個作る)

(C20) C10

G15 (先に組む)

C14 (C24)

G16 (反対側に取り付ける)

C16 (C26) (反対側に取り付ける)

C19 (C26)

### 6-7 RIGHT LEG

(右脚の組立)

PC9 XB17

XB18

(後ろから見た図)

C19

C120

C10 (向きに注意)

6-6

6-2

### 7 LEFT LEG

(左脚の組立)

XB17 PC9

XB18

(後ろから見た図)

C121

C122

C210 (向きに注意)

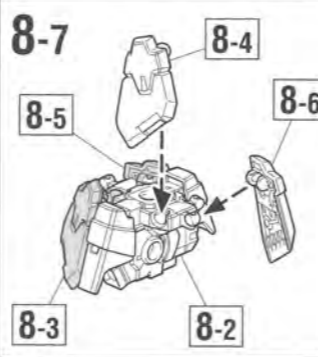
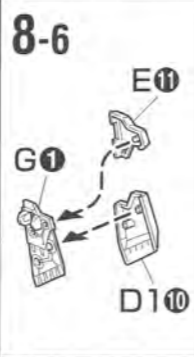
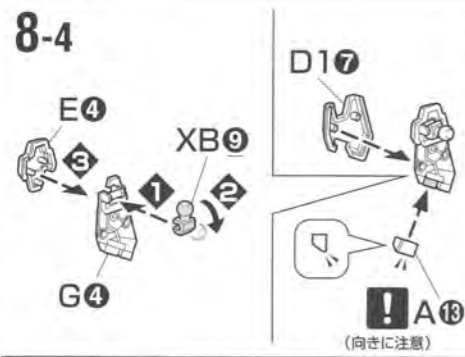
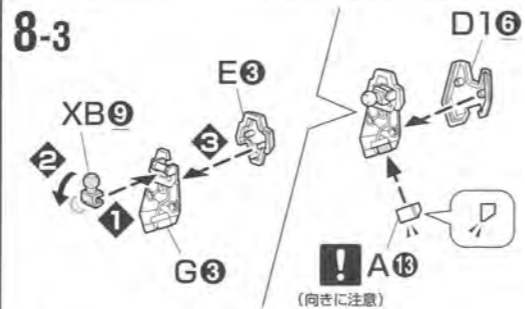
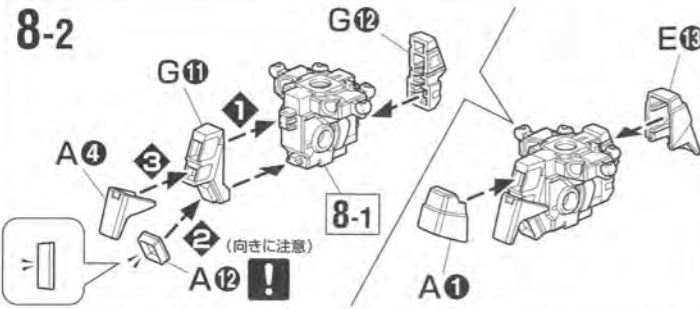
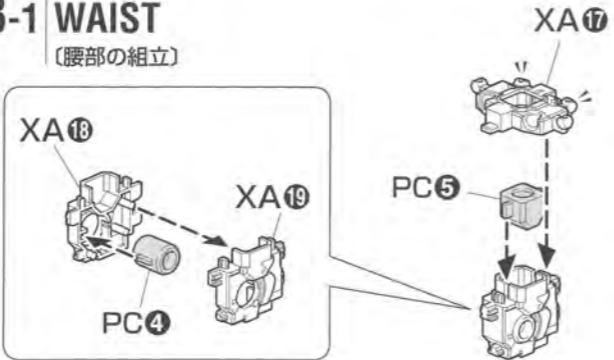
6-6

6-2

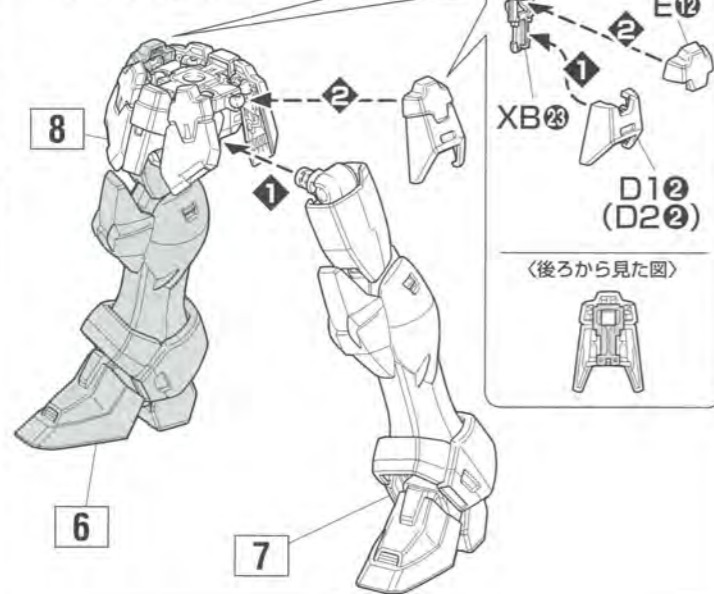
### 8 WAIST



#### 8-1 WAIST 〔腰部の組立〕



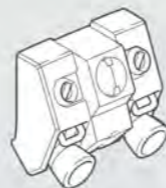
### 9 BOTTOM 〔下半身の組立〕



### 10 BODY ASSEMBLE



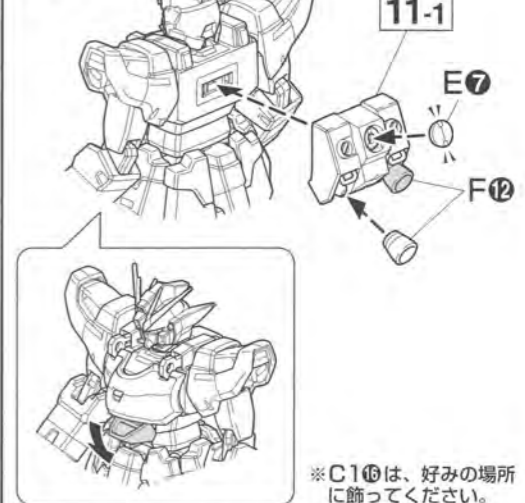
### 11 BACK PACK



#### 11-1 BACK PACK 〔バックパックの組立〕



#### 11-2

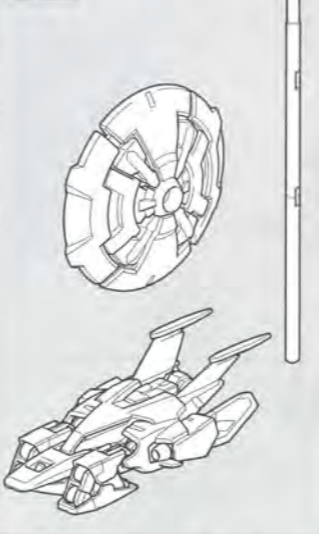


※C10は、好みの場所に飾ってください。

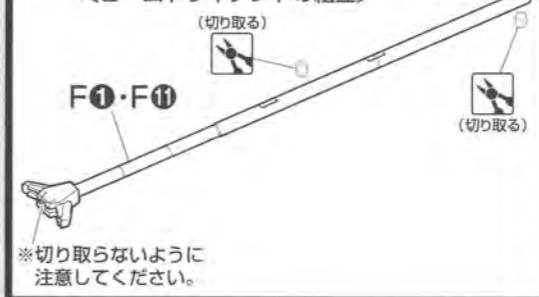
### 12 BEAM TRIDENT

### 13 SHIELD

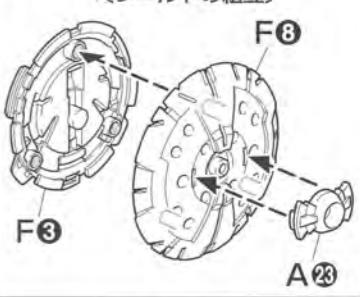
### 14 DRAGON FANG



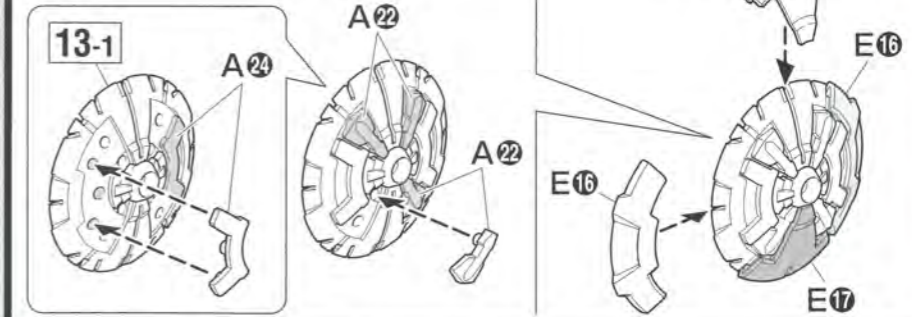
#### 12 BEAM TRIDENT 〔ビームトライデントの組立〕



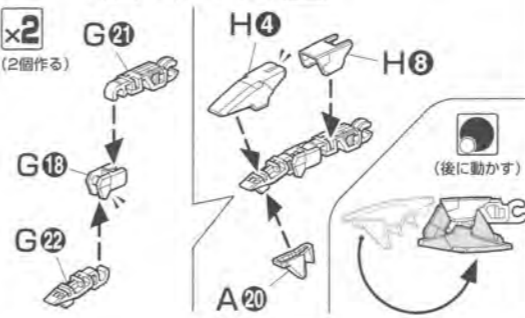
#### 13-1 SHIELD 〔シールドの組立〕



#### 13-2



#### 14-1 DRAGON FANG 〔ドラゴンハングの組立〕



#### 14-2

